

愛知「発酵食文化」振興事業 ウェブサイト運營業務 仕様書

1 目的

2024年度に公開した特設サイト「あいち発酵食めぐり」及び公式SNS「うまみ県あいち発酵食めぐり」の運営により、本県の発酵食文化の魅力を情報発信することで、国内外からの愛知の発酵食文化の認知度向上及び誘客促進を図る。

また、ウェブサイト及びSNSに対するユーザーの反応等のデータを、集約・分析することで、今後の事業に活用する。

2 業務内容

国内外に向けて、愛知の発酵食文化の魅力を分かりやすく発信し、多言語での情報発信を行う。また、多言語のSNSを活用し、国内外に向けて情報発信を行い、愛知への誘客促進を図る。

(1) ウェブサイト運營業務

ア 業務の概要

ウェブサイトが安定稼働をするために必要な作業を実施すること。ウェブサイトの修正、情報の追加・削除等の更新をし、アクセス数の向上に努めるとともに、ユーザーからの各種問合せに対応すること。

イ 対象サイト

<https://hakko-aichi.jp/>とその配下のウェブサイト

ウ サーバーの管理運用

- ・国内にサーバーを設置し管理運用を行うこと。
- ・適宜、サーバーセキュリティ関連対策をすること。
- ・ウェブサイトが安定稼働するよう、安全性、信頼性、セキュリティ対策の高い運用作業を行い、ユーザー及び管理者の利便性の向上に努めること。また、障害発生時は迅速に復旧し、適切な対策を施すこと。
- ・担当者、内容、手法、スケジュール、障害発生時の対応などについて、運用・保守管理方針などを策定し、それに基づき運用すること（障害発生時の再発防止策を含む）。

エ ウェブページ簡易更新システム（CMS）の維持・拡充

- ・本業務においては、ウェブサイトの運営管理をCMS を用いて行うものとする。なお、本業務は、CMS の新規開発を想定するものではなく、既存のCMS（受託者が保有するCMS 又はオープンなCMS ）を利用し、必要な初期設定、デザイン反映及びデータ調整等は本業務に含めて実施するものとする。
- ・CMS を安定稼働させ、専門知識を有しない職員でもウェブページのテキスト修正や PDF リンク、写真添付等の追加・更新作業や SNS による情報発信を容易に行えるようにすること。

- ・ユーザーの反応等を可視化するため、充実したマーケティング機能を備えるなど、CMS の拡充を図ること。
- ・ウェブページの利用、更新、管理に必要な操作マニュアルを随時更新すること。
- ・ウェブページの管理・運営を適切に行えるよう、協議会事務局員に研修を行うこと。
- ・プログラムの動作テストに際し、テスト項目と内容、スケジュールなどの計画を協議会に提示し、内容の承認を得た上で作業するものとする。また、テスト結果をとりまとめ、協議会に提出するものとする。なお、本番環境での開発テストは極力少なくすることとする。
- ・バージョンアップ及びパッチ等の適用を必要に応じて行うこと。なお、システムの動作に影響を及ぼし、プログラム改修が必要と判断される場合は、速やかに協議会に報告し、対応について協議するものとする。

オ アクセス解析ツールの維持・拡充

- ・アクセス解析ツールを維持し、専門的知識を有しない職員でも容易に利用できるようにすること。
- ・アクセス解析ツールの利用が適切に行えるよう、職員に研修を行うこと。
- ・ユーザーの反応等を可視化し、充実したマーケティング分析を行うため、アクセス解析ツールの拡充を図ること。

カ 情報セキュリティ対策

- ・管理画面など必要なページには、本システムで認証したユーザー（県及びシステム設計・管理者）以外の不正ユーザーによる本システムへのアクセスを禁止する対策を施すものとする。
- ・個人情報の入力を要する仕組みについては SSL 通信などによる暗号化対策を実施するとともに、全てのシステム環境において、セキュリティについては万全の対策を施すものとする。（別紙「個人情報の取扱いに関する特記事項」を参照。）
- ・外部からは常に不正アクセスがあることを考慮し、それらの脅威から防御できる対策を施すとともに、未知の脅威や新たな不正アクセスの手法に対しても、適切かつ迅速に防御できる対策を施すものとする。

キ 不正アクセス及びサーバエラー等の調査

- ・各種ログについて異常がないか確認し、異常があった場合には速やかに協議会に報告するとともに、対策を提案し、措置すること。

ク 操作・仕様に関する問合せ

- ・本サイトに関する問合せはヘルプデスクの窓口を設け対応する。
- ・問合せ窓口は、メール又は電話にて対応を行う。

ケ システム障害対応

万が一、障害が発生した場合は迅速に復旧し、適切な対策を施すものとする。

コ サイトの構成

- ・ サイト構成は、現行ウェブサイトの課題を踏まえ、最適と考えられるものとする。
- ・ サイトの多言語化については、現在の日本語及び英語、中国語（簡体字・繁体字）で構築を行うこと。
- ・ ユーザーの視点に立った分かりやすい情報分類、タイトル名、サイト構成設計により、ユーザーが迷うことなく情報を利用できるメニュー構成とすること。
- ・ 既存のコンテンツの精査と情報の再編集を行うこと。また、来訪動機を喚起するような各言語のユーザーの興味・関心に合ったコンテンツ等を維持・拡充すること。

サ 主要機能の搭載

- ・ ウェブサイト及びウェブサイトの掲載情報（県内の発酵関連イベント・取組等）の周知のため、SNSを運営すること。
- ・ パソコン、タブレット端末、スマートフォンなど、マルチデバイスでの利用対応を考慮するとともに、デバイスユーザーがストレスを感じない程度の閲覧状態・構成・速度を意識した上で制作すること。
- ・ 基本デザイン・構想等についてはできる限りガイドライン・ルールを策定し、共有すること。
- ・ サイト環境は、Google Chrome、Firefox、Safari、Microsoft Edge 等の最新版ブラウザで閲覧可能とし、特殊なソフトウェアのダウンロードが必要ないようにすること。

シ ウェブページの管理運営

（ア）運営方針

ウェブページの運営については、ユーザーにとって魅力的な情報発信をするよう、協議会が提供する情報及び委託事業者が収集した情報をもとに、日々各言語のウェブページの情報更新を行う。

（イ）言語

日本語及び英語、中国語（簡体字・繁体字）

（ウ）ページデザイン・掲載内容

- ・ 魅力的な情報発信を行うため、タイムリーな情報の収集及び発信に努め、愛知の発酵食文化に関わる蔵元の歴史や想い、愛知の発酵食を活用したメニューを提供する飲食店などを取材した特集ページを年4回以上、定期的に掲載・更新すること。また、協議会が提供する観光情報やコラム等についても、適宜、サイトに掲載すること。
- ・ ウェブページに掲載している「発酵食スポット」の掲載申請及び「あいち発酵食の館」の登録申請に関する申請用の窓口ページと申請フォームを作成し、申請受付に係る業務を行うこと。申請用の窓口ページと申請フォームは、申請の利便性の向上や協議会の必要に応じて、適宜改修していくこ

と。あわせて、協議会による申請内容の審査・承認後、当該申請に基づき、本件ウェブページへの掲載に係る業務を行うこと。

- ・協議会の他事業の受託事業者と連携し、以下のランディングページの作成に係る業務を行うこと。
 - 愛知の発酵食をテーマにした飲食フェアの案内用ランディングページ（日本語及び英語での作成）
 - アジア・アジアパラ競技大会に来ているメディア向けFAMツアーの参加者募集用ランディングページ（日本語及び英語での作成）
- ・愛知「発酵食文化」振興協議会が2025年度に実施した「ガイド育成プログラム」の修了生に関する情報を掲載するガイド紹介ページ（最大12名程度）を新たに作成すること。掲載内容は、ガイドの氏名、写真、活動範囲、SNSアカウント等を想定し、掲載情報は協議会を通じて提供するものとする。また、ガイドの派遣を検討する旅行会社やランドオペレーター等にとって、内容が把握しやすく、利用しやすいデザインとすること。
- ・サイトに掲載されている「発酵食スポット」の回遊性を高めるためのデジタルマップを追加すること。デジタルマップにはマップ検索機能を追加し、愛知県の地図上に、閲覧者の現在地と周辺の発酵食スポットがジャンル（グルメ、お土産など）別で表示されるようにすること。
- ・施設情報や交通情報などの掲載情報に誤りが判明した場合は、速やかに修正するよう対応すること。
- ・ウェブアクセシビリティが確保されたウェブページの作成に努めること。特に、JIS X 8341-3「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェアサービス—第3部：ウェブコンテンツ」（通称：ウェブコンテンツ JIS）に配慮すること。
- ・サイト内の全ての企画は、他人の名誉、信用、プライバシー権、肖像権、著作権、その他の権利を侵害しないものであること。また、公序良俗、一般常識に反する内容でないこと。
- ・掲載に必要なリンク設定や各言語のバナー制作等も実施すること。

（エ）翻訳

- ・翻訳にあたっては、対象国ユーザーの視点で適切な表現となるよう、ネイティブ及び日本語と当該言語のバイリンガル能力を有する者が、翻訳文章全体の調和等の観点も含めた検証を行い、適宜修正すること。
- ・機械翻訳は不可とし、文字化けやレイアウト崩れなどの具合についてもチェックすること。
- ・固有名詞の表現については、以下のガイドライン等に沿ったものとし、表記の統一を図ること。
- ・「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」（平成26年3月観光庁）
- ・「地名等の英語表記規程」（平成28年3月国土地理院）

- ・「地域観光資源の英語解説文作成のためのライティング・スタイルマニュアル」（令和3年3月観光庁）
- ・翻訳結果に対して問題があると協議会が判断した場合は、再翻訳や翻訳者、ネイティブチェッカーの変更を指示することがある。

ス 問合せ対応業務

- ・本サイトに関する問合せはヘルプデスクの窓口を設け対応すること。
- ・ヘルプデスクの対応時間は、平日 9:00～18:00（12:00～13:00 を除く）とし、土日祝日、年末年始は休業日とする。
- ・ヘルプデスク専用のメールアドレス及び電話番号を用意すること。また、例えば AI 機能の導入など、迅速に対応できる仕組みの検討を行うこと。
- ・問合せ対応内容は定期的に協議会に報告すること。

セ 運営体制

- ・ウェブページを管理運営する管理者1名、言語ごとの担当者、問合せ対応担当者等を明示した、管理体制表を協議会に提出すること。
- ・管理者は、協議会との連絡調整を密に行いながら、ウェブページの管理運営を行うこと。

（2）SNS 運営業務

ア 業務の内容

- ・協議会公式SNSアカウント「うまみ県あいち発酵食めぐり」を運営し、協議会が想定しているターゲット国・地域（日本・台湾・香港・アメリカ）に向けて、2026年4月から情報を発信すること。また、年度を通して適切な管理・運営を行うこと。
- ・対象国ユーザーの嗜好に合わせて愛知の発酵食文化に関する最新情報・トレンド、旅行計画を立てるための情報等、現地の人々が魅力的に感じ来訪動機を喚起するような記事を作成し、月4回以上情報発信を行うこと。

イ 言語

日本語及び英語、中国語（繁体字・簡体字）

ウ 利用する SNS

Facebook、X、Weibo、RED、WeChat、Instagram、LINE 等、外国人の SNS 利用動向を把握した上で、効果的な SNS を利用すること。

エ ページデザイン

- ・言語市場の特性に合わせて、現地の人々が魅力的に感じるようなアカウントページのレイアウトやデザインを工夫すること。
- ・アカウントページの写真は定期又は不定期に差し替え、季節やタイムリーな話題に合うものを使用すること。
- ・ウェブサイトと連動して、効果的に情報発信する仕組みとすること。

オ 運営体制

- ・英語・中国語（繁体字・簡体字）に精通した専任スタッフを 1 名ずつ配置し、中国語（繁体字・簡体字）のスタッフはネイティブとすること。
- ・表現に対して問題があると協議会が判断した場合は、スタッフの変更を指示することがあるので、対応すること。

カ 投稿記事

- ・日本語及び英語、中国語（繁体字・簡体字）について、原則として、月 4 回以上情報を発信すること。また SNS 年間投稿は以下を目標とする。

Instagram（日本語・英語・中国語繁体字）

・・・各言語年間投稿数 50 以上

Facebook（日本語・英語・中国語繁体字）

・・・各言語年間投稿数 50 以上

RED（中国簡体字）・・・年間投稿数 50 以上

- ・魅力的な情報を投稿するために必要な取材、記事作成、コメントへの返信を行うこと。英語及び中国語（繁体字・簡体字）は、投稿を行うスタッフと同一の者が行うこと。
- ・SNSの運営を通じて外国人旅行者が求める情報や嗜好を調査し、協議会に情報提供すること。
- ・SNSのエンゲージメントを増加させるために、「旅行者口コミキャンペーン」等の施策に適宜取り組むこと。キャンペーン景品等は事前に協議会と内容を協議すること。
- ・フォロワー数1,000人から1万人程度のマイクロインフルエンサーを活用し、高いエンゲージメント率と信頼性を生かした情報発信を行うこと。特に海外向けには、ガストロノミーツーリズム等に関心を有するインフルエンサーを起用し、現地の旅行関心層への認知拡大を図ること。

キ SNS用ショート動画制作

- ・スマートフォンでの視聴を想定した縦型かつ30～60秒程度の映像を 6 本以上制作すること。
- ・動画の内容については、ターゲット国・地域（日本・台湾・香港・アメリカ）にいる食文化に関心が高い層を想定し、愛知の発酵食文化に関するコンテンツについて、ユーザーの認知度を向上させ、共感を生むような題材、表現方法を企画提案すること。
- ・協議会公式SNS（Instagram、Facebook、RED）で配信できる形式で納品すること。なお、動画の投稿先としてInstagram（リール）を想定して動画制作を行うものとするが、実際の投稿においては、全てのSNSで同一の動画を投稿する。

ク 留意事項

- ・システム構築、情報収集、運営等に係る一切の業務（費用）を含むものとする。
- ・アカウント情報は、ページデザインや記事内容、コメントに対する返信内容を含め、全て協議会に帰属するものとする。

(3) SEO 対策・ウェブ広告等の実施

ア SEO 対策

- ・GoogleやYahooなどの検索エンジンの結果が上位に掲載されるよう対策を講じること。
- ・リスティング広告等を行うこと。実施に際しては、定期的にアクセス件数と合わせて効果検証レポートを行い、ウェブサイトへの流入数の増加に対して費用対効果が高い手法を用いること。

イ ウェブ広告等

- ・協議会が想定しているターゲット国・地域（日本・台湾・香港・アメリカ）に合わせて、世界的な旅行口コミサイトなどと連動したウェブ広告やSNS内広告機能等を活用し、ウェブサイトのアクセス数の向上を図ること。
- ・広告内容及び広告実施時期については、事前に協議会と協議すること。
- ・広告実施に際しては、定期的にアクセス件数と合わせて効果検証レポートを行い、ウェブサイトへの流入数の増加に対して費用対効果が高い手法を用いること。

(4) その他関連業務

ア アクセス解析の実施

対象サイト及び SNS のアクセス解析を実施し、毎月協議会に報告すること。

イ 県事業「Aichi Now」との相互連携

協議会の特設ウェブサイトやSNSを活用した情報発信等については、県事業である愛知の公式観光ガイド「Aichi Now」の運営受託者との連携が必要不可欠であるため、相互に連携を取り合った事業実施に努めること。連携内容については、協議会及び県と協議の上決定する。

ウ 会議・報告

ウェブサイト及びSNSのアクセス解析等の結果報告及び業務履行の進捗状況の報告や協議・相談を行うため、定例の会議を行うこととするが、頻度・内容・方法等については、協議会と協議の上決定する。

エ 委託業者変更時の移行作業

- ・2027年度の委託業者が変更された場合、旧受託者は、本業務の終了にあたり、ウェブサイトの運営に必要なコンテンツデータについて、次期受託者が円滑に業務を開始できるよう、必要な情報提供及び説明等の伴走支援を行うものとする。なお、支援の期間は最大3か月程度を想定している。
- ・本項の移行作業は、本業務の一部として実施するものとし、CMSの新規開発又は旧受託者が使用するCMSの開示・提供を求めるものではない。

3 成果物

以下の成果物を日本産業規格 A4 判で2部作成すること。また、データをUSBメモリとWeb経由で納品すること。

- ・実施結果報告書
- ・コンテンツ

4 納入場所

愛知「発酵食文化」振興協議会（事務局：一般社団法人愛知県観光協会）

5 納入期限

2027年 3 月 31 日（水）

6 作成物・成果物に関する権利の帰属

- (1) 本件委託業務の成果物に関する著作権等（著作権法第 27 条、同第 28 条に定める権利を含む。）は、原則として全て協議会に帰属するものとし、受託者に事前に連絡することなく、協議会が加工及び二次使用できるものとする。ただし、以下に該当するものについては、この限りではない。

ア 受託者が本件業務の受託以前より独自に保有する CMS（ソフトウェア、モジュール、プログラム、データベース構造その他これに付随する知的財産を含む。）に関する著作権その他の知的財産権は受託者に帰属し、協議会はこれを取得しない。

イ 受託者が作成した納品物に使用されるイラスト、写真、キャラクター等の素材の著作権であって第三者が有するもの、又は受託者が本件業務を受託する以前から有していたもの。

- (2) 受託者は本著作物に関し、委託者又は委託者から本件著作物の譲渡を受けた第三者に対して著作者人格権（公表権、氏名表示権、同一性保持権）を行使しないものとする。ただし、受託者が本件業務を受託する以前から有していた著作物については、この限りではない。

- (3) 第三者が権利を有する著作物（以下「既存著作物等」）が含まれる場合には、受託者は、当該既存著作物等の使用に必要な費用の負担及び使用承諾契約等に関わる一切の手続きを行うこととする。また、第三者から権利侵害などの損害賠償が提起された場合は、一切受託者の責任において処理するものとする。

- (4) その他、著作権等で疑義が生じた場合は、別途協議の上、決定するものとする。

7 留意事項

- (1) 本業務は、受託事業者で有している知識に基づき行うものとし、本業務で知り得た情報については、管理・保管を十分行うとともに、外部への漏えいに十分注意すること。

- (2) 本仕様書に特に記載のあるものを除き、委託業務を遂行する上で必要となる一切の経費は、本契約に含むものとし、受託者が負担すること。

- (3) 成果物の加工が必要となった場合は、著作物についても許可なく協議会が加工でき

るものとする。

- (4) 委託業務の実施にあたっては、事前に協議会と十分協議を行うこと。また、協議会との連絡調整を密にして事業を実施するとともに、協議会の他事業の受託事業者との連携を円滑に行うこと。